

# ～鬼を滅する者達へ～

まずは古来から伝わる鬼と妖怪を調査してみてはいかがでしょうか…?



## [現代版]絵本 御伽草子『付喪神』

町田康/文 石黒アヤ子/絵 講談社

道具は百年経つと意識が生まれ付喪神になるらしい。人間はこれを氣味悪いと嫌い、古くなった道具をすくねいと称し捨てていた。「さんざん使っておいて百年経ったらボイ捨てかよ。人間むかつく。復讐してえ」と腹を立てた古物どもが妖怪となり一揆を起こすさまを、町田康がロック魂全開の現代文で描いた抱腹絶倒の一冊です。挿絵も最高!



## 『決定版 日本妖怪大全

妖怪・あの世・神様

水木しげる/著 講談社文庫

妖怪研究者でマンガ家の水木しげるによる妖怪解説書。50音順で日本の伝統的な怪異、体験談、エッセイを詳細なイラスト入りで紹介。900ページを超えるボリュームで図鑑のよう。メジャーな妖怪からマイナーな妖怪まで、話題の悪鬼やアマビエも掲載。ディープな妖怪ワールドにあなたをご招待!



## 『鴨川ホルモー』

万城目 學 KADOKAWA/角川文庫

京大の新入生・安倍は同学年の高村と一緒に鬼を説くサークル「京大青竜会」に勧誘される。

そのサークルに入る気は無かった彼だが、参加した新歓コンバで女性に一目惚れをし、活動内容も知らないまま入会してしまう。だが、実はそこは鬼や式神を使役し戦う謎の競技「ホルモー」を行う会である。



## 『鬼の橋』

伊藤 遊/著 太田 大八/画  
福音館文庫

ときは平安初期。少年笠は古井戸からあの世の入口へと迷い込む。死後も鬼から都を守る征夷大將軍の坂上田村麻呂、少女門子那、片方の角を折られた鬼の非天丸。彼らとの出会いの中で笠は大人へと成長していく。

この世と地獄を行き來した伝説が残る、小野笠の少年時代を描いた物語。



## 『都道府県別にっぽんオニ図鑑』

山崎 敏子/著 スズキ テツコ/絵  
じゃこめてい出版

伝説の鬼や節分で豆をまく鬼。昔話の桃太郎に出てくる鬼。「悪い子はいねがー！」とやってくる秋田県のナマハゲ。

日本人にとって身近な鬼を知ることで新しい発見があります。都道府県別になつてるのでどこから読んでも読みやすく、イラストと解説で楽しく紹介されています。

